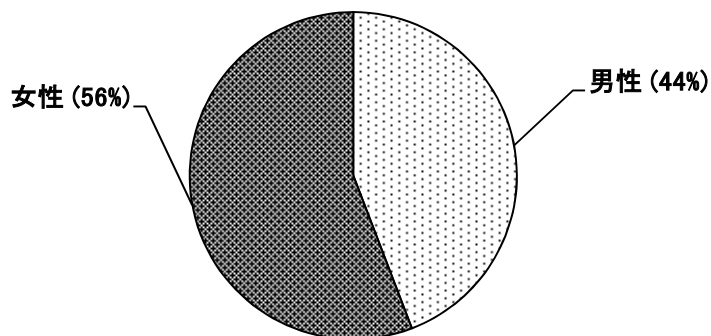


IV アンケート調査

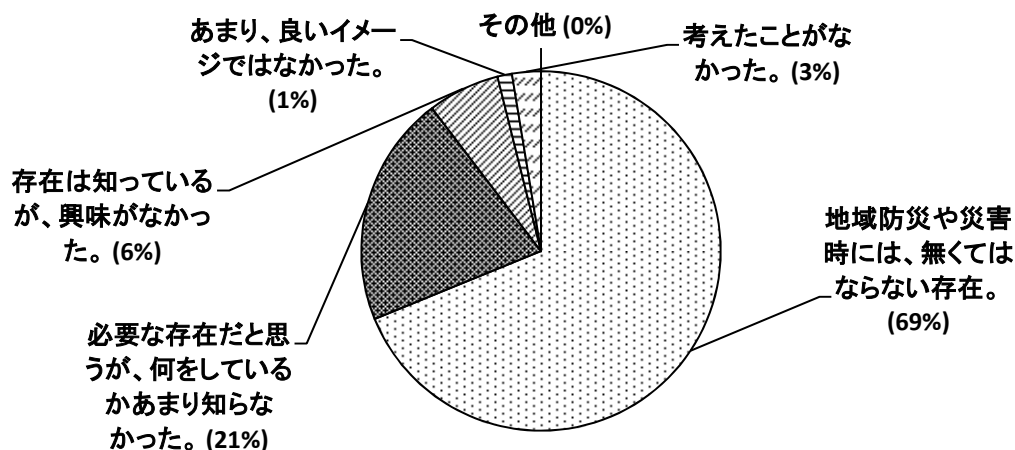
視聴者アンケートを実施し、消防団PR動画を通して、消防団員加入促進につながる消防団に対する意識変化やイメージアップにつながったかを調査しました。

問1 あなたの性別を教えてください。



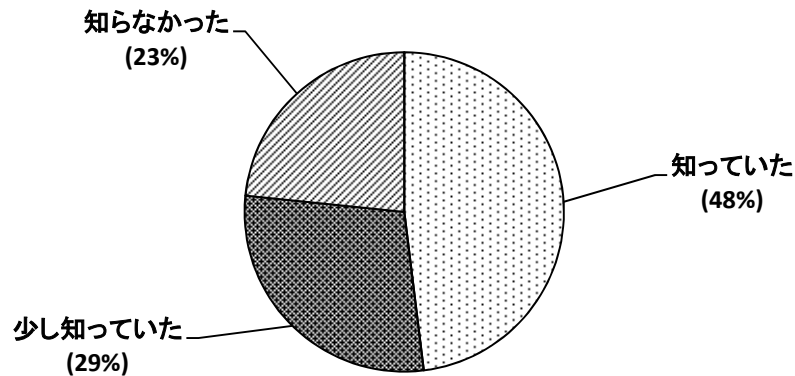
約6割が女性、約4割が男性からの回答となった。

問2 あなたのこれまでの消防団のイメージについて教えてください。
(最も近いものを1つ)



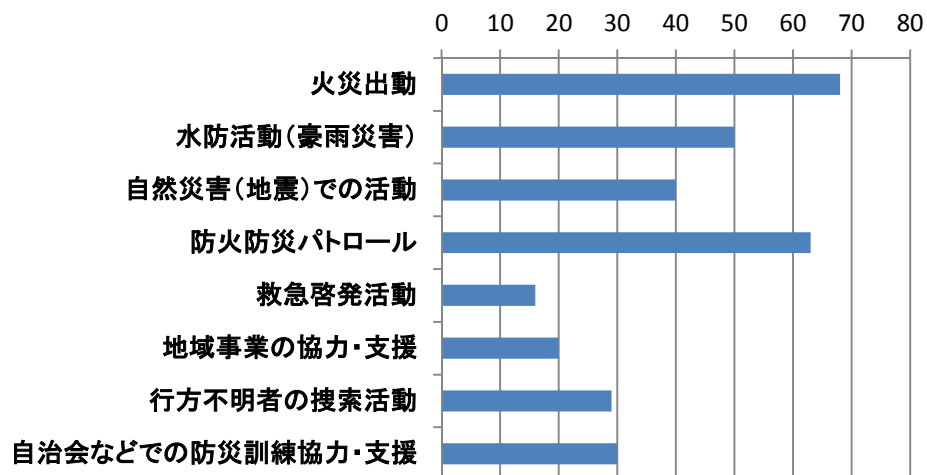
「地域防災や災害時には、無くてはならない存在」と認識している人が約7割いるが、一方で「何をしているのか知らなかった」「興味がなかった」という回答が約3割あった。

問3 あなたは消防団員と消防職員の違いについて知っていましたか？（1つ）



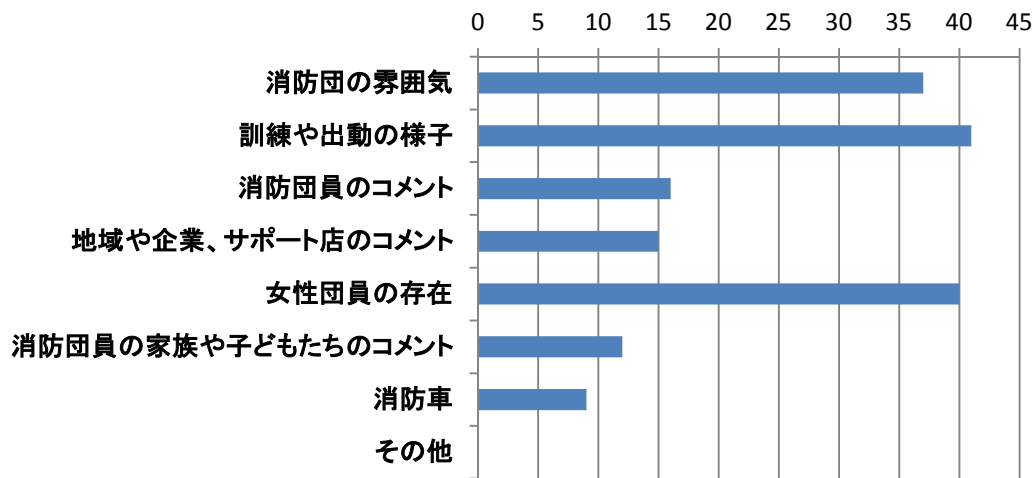
「知らなかった」「少し知っていた」と回答した方が過半数を超える結果であり、消防団についての理解認識が、低い事が分かった。

問4 消防団活動について、知っていたことを教えてください。（いくつでも）



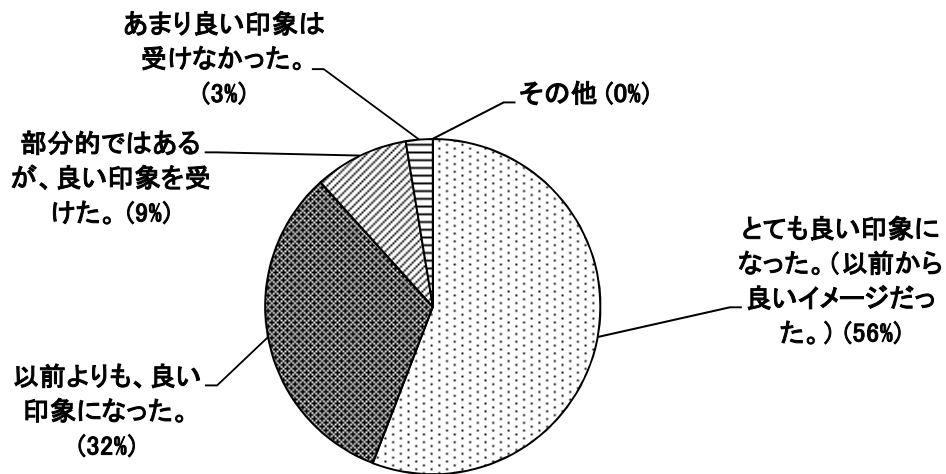
「火災出動」や「水防活動」「防火防災パトロール」などの消防車両を使った活動は認知度が高いことが分かった反面、「救急啓発活動」や「地域事業の協力・支援」などの地道な地域活動などは認知度が低い事が分かった。

問5 今回の消防団PR動画を見て、興味を持ったものはどれですか？（いくつでも）



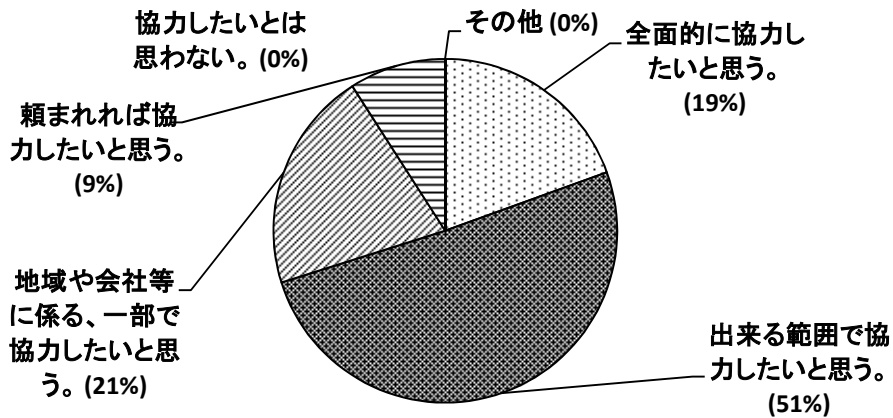
「訓練や出動の様子」や「女性団員の存在」「消防団の雰囲気」などが、特に多くの人に興味を持ってもらえたことが伺えた。

問6 今回の消防団PR動画を見て、消防団に対する印象の変化はありましたか？
(1つ)



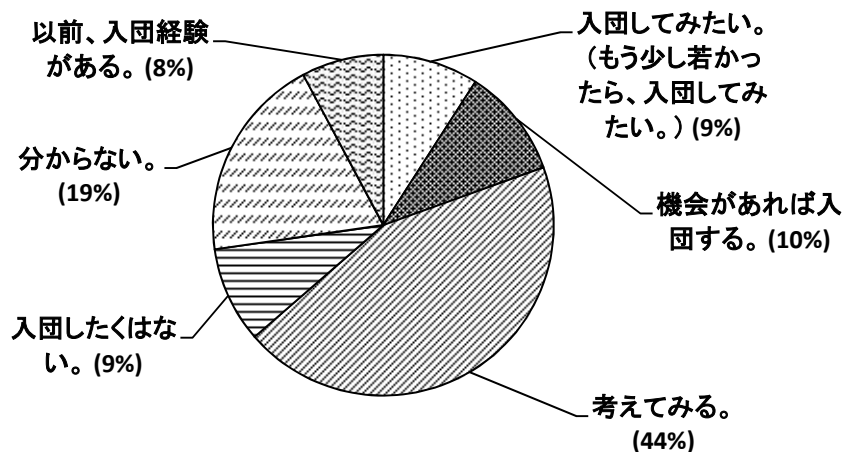
「とても良い印象になった」と「以前よりも、良い印象になった」が約9割を占め、PR動画の放送配信はとても効果的であり、消防団に対して好意的なイメージを市民に持ってもらうことが分かった。

問7 今回の消防団PR動画を見て、消防団への協力についてどう思いますか？
 (最も近いものを1つ)



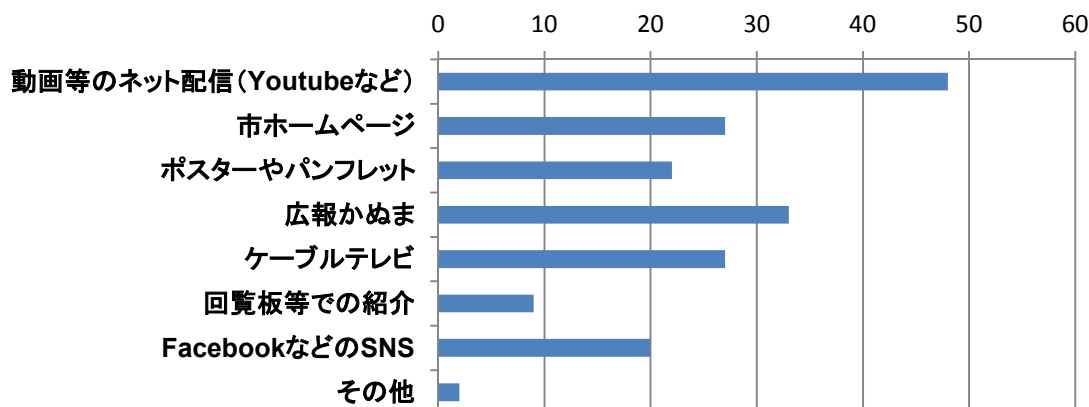
「出来る範囲で協力したい」が過半数を占め、「全面的に協力したい」「地域や会社等に係る、一部で協力したい」を含めると約9割の視聴者から協力的な意見があった。PR動画の放送配信によって、消防団に対する市民の理解や協力体制がより推進されることが伺えた。

問8 あなたに消防団への入団の勧誘が来たらどうしますか？ (最も近いものを1つ)



「入団してみたい」「機会があれば入団する」の回答が約2割あり、「考えてみる」の回答が約4割であった。本事業が消防団員の加入促進に一定の効果が期待できることが確認できた反面、PR動画の配信放送だけでなく、従来の広報や勧誘活動等も並行して実施することが、加入促進には必要不可欠であることも示唆できました。

問9 消防団について幅広く知ってもらうために、今後どのようなメディアの活用がより効果的だと思いますか？（いくつでも）



「動画等のネット配信」が最も多く、次いで「市広報誌」「市ホームページ」「ケーブルテレビ」が多い順となった。また「ポスターやパンフレット」という回答も少なくなく、今後も本事業のような、動画等の配信等と並行し、従来の紙媒体での広報など、多様なメディアを活用した広報が必要であることが伺えた。

問10 その他消防団に関して、ご自由にお書きください。

- ・地域住民のために、日々活動してくれていて感謝しています。
- ・女性団員の活躍を、PR動画を見て初めて知り興味を持ちました。
- ・女性団員が多く活躍している姿を見て、感動しました。
- ・消防団員の皆さんが、幅広い活動をしている事を知り驚きました。
- ・仕事や家庭を持ちながらの活動は、本当に大変だと思います。感謝の気持ちがある反面、負担軽減について考えるべきではとも思います。
- ・PR動画を見て、私も入団について考えてみようと思いました。
- ・災害があった時は、ありがたいと感じていましたが、平常時も積極的な活動をしていることを知り、驚きました。
- ・人口が減少傾向にある中で、消防団員確保を行うには、大きなメリットを付与する必要があると思います。
- ・日々の生活が忙しい若手の方には、積極的な活動をする消防団に入団するのは難しいのでは、と思いました。

など

【アンケート実施結果】

アンケート回収率	アンケート回答数	回答者（男性）	回答者（女性）
61.6%	77名	34名	43名